

二〇二六年度 後期 第四十八回 昇格・昇段検定試験要項 しめきり 十月十六日(金)

第四十八回昇格・昇段検定試験を左記の要領で実施いたします。

・毛筆の部に「助教」の上の段級として、「修士」・「準修士」を設けています。「助教」・「準修士」の方は、更なる研鑽と実力養成のため挑戦してください。

・毛筆の部「師範・準師範検定試験」の受験資格は「高士」以上。六段以上の方は更なる勉強のために昇格検定試験を受験し、師範試験を目指してください。

毛筆一般の部

※氏名の入れ方を変更します。

第一種(昇格の部) 「〇〇書」もしくは「〇〇臨」と入れてください。「漢字」「かな」とともに「条幅研究」と同様

課題

修士・準修士の部			助教までの部		種別
助教・準修士			準六段以上準助教まで		対象
共通	かな	漢字	かな	漢字	
⑤半紙手紙文（半紙を縦長に使い縦書き。漢字・かなの変換不可。句読点不要）	右の①④と同じ	右の①④と同じ	④書歴書 四十六ページに掲載	④書歴書 四十六ページに掲載	課 題
			①半切創作 さびしさはその色としもなかりけりまき立つ山の秋の夕暮（寂蓮） ②半切創作 はつかりや月のほとりより顕るる（三浦樽良） ③半切臨書 粘葉本和漢朗詠集（伝藤原行成筆） 四十六ページに掲載	①半切創作 趙氏連城壁 由來天下傳 送君還舊府 明月滿前川（趙氏連城の壁 由來天下に伝う） ②半切創作 無人送酒來（人の酒を送り来る無し 岑參）（書体随意。一行で書くこと） ③半切臨書 蘭亭序 神龍半印本（王羲之） 四十六ページに掲載	
映画国宝をご覧になりましたか。劇中で、芸を磨く若かりし頃の主人公が二人藤娘を披露するシーンがあります。ロケ地は、廻り舞台や奈落、花道もある芝居小屋の出石永楽館。名物のそばを食べがてらロケ地巡りに行きませんか。			4,000円		受験料

◎第一種合格者は、修士・準修士・助教・準助教・高士・準高士・六段の相当段位に昇格。

第一種（昇格の部）

③半切臨書課題（漢字） 蘭亭序 神龍半印本（王羲之）

將至及其所之既倦情
隨事遷感慨係

○○臨

（釈文）「將至及其所之既倦情隨事遷感慨係」

將に至らんとするを。其の之く所既に倦み、情は事に隨いて遷るに及ては感慨（之に）係われり

④書歷書

（半紙を横にして
毛筆で、縦書）

書歷書

氏名

現段位

記入年月日

〔注意〕

住所・生年月日は
不要

③半切臨書課題（かな） 粘葉本和漢朗詠集（伝藤原行成筆）

ゆきやらでやまぢくらしつほとゝぎす
いまひとこゑのきかまほしさに公忠

（釈文）

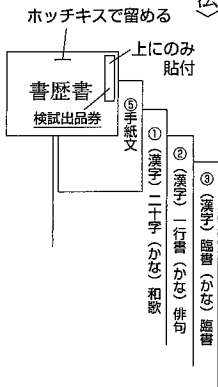
ゆきやらでやまぢくらしつほとゝぎす
いまひとこゑのきかまほしさに公忠

○○臨

⑤手紙文

（修士・準修士）

〔提出方法〕



毛筆の部「助教までの部」の作品は、①②③順にセットし、④書歷書を一番上にして必ずホッチキスでとめてください。なお、書歷書の右上に「検試出品券」を貼付してください（上図参照）。
毛筆の部「修士・準修士の部」は⑤作品を「書歷書」と①（漢字）二十字（かな）和歌の間にに入れてください。

※句読点は不要

段位 氏名

第二種（昇段の部） ◎第二種合格者は、相当段位に編入する。

種別	対象	課 題	受験料
昇段の部	特級以上五段まで	漢字 ①半紙創作 守道有 ^{みち} 天知 ^{てん} （道を守れば天の知る有り）（行書体で書くこと） ②半紙臨書 蘭亭序 神龍半印本（王羲之） 四十七ページに掲載 ①半紙創作 子をつれて葦刈 ^{あしか} る人 ^{ひと} に日和 ^{ひより} かな（原石鼎） ②半紙臨書 粘葉本和漢朗詠集（伝藤原行成筆） 四十七ページに掲載	2,000円

②半紙臨書課題（漢字）蘭亭序 神龍半印本（王羲之）

二 芝の暢叙幽

※一行目三字、二行目三字で

（釈文）「亦足以暢叙幽」亦叙^{またじ}するに幽^{ゆう}（情）を以て暢^{もち}足^{ちゆうた}る。

②半紙臨書課題（かな）粘葉本和漢朗詠集（伝藤原行成筆）

てきふのあきふをのあふに
ふふふふふふふふふふふふ

（提出方法）

毛筆の部第二種作品は①②順にホッチキスでとめ、作品の右上に「検試出品券」を貼付してください。

（釈文）さをしのかのあさたつをの、あきはぎにたまとみるまでおけるしらつゆ家持

段位 氏名（姓号）

毛筆学生の部

初段以上五段まで					対象
高校	中学	五・六年	三・四年	一・二年	学年
初秋涼気発	剣道の達人	美しい絵画	本を読む	草むら	課 題
400円					受験料

◎半紙に縦書き

◎十月号での段位・氏名を記入。

◎中・高校生は行書も可。

◎合格者は相当段位に編入。

（例）

段位	草む
氏名	

段 天 守
氏 知 道
名 有

漢字用

う ら に の り づ け
検 試
現在の段
段
支 部 名
※決定段位

かな用

う ら に の り づ け
検 試
現在の段
段
支 部 名
※決定段位

硬筆一般の部

種別	対象	課題	筆記具	受験料
修士・準修士の部	助教・準修士	①楷書、行書、草書の三体で書く 「朝露・領域・聖書」 ②B5用紙に縦書き四行で書く 内容は左記 ③B5用紙に横書き四行で書く 内容は下記 ④書歴書	黒色の水性 ボールペン サインペン 万年筆等 (筆ペン不可)	4,000円
助教までの部	五段以上準助教まで			3,000円

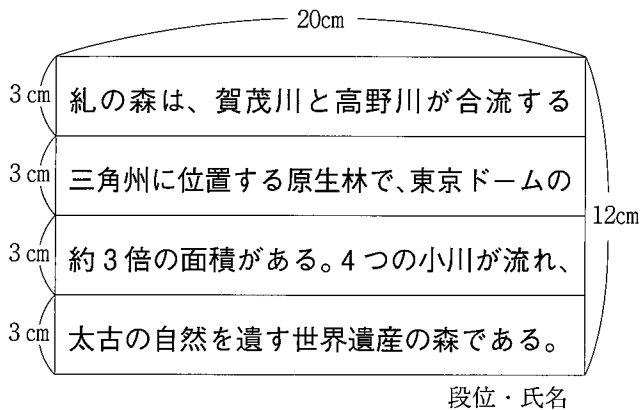
B5

※B5の用紙は白色に限る。罫線は各自で入れること。
(水明書道会館では一枚十円で販売しています)
※各作品の左下に段位・氏名を楷書で明記すること。

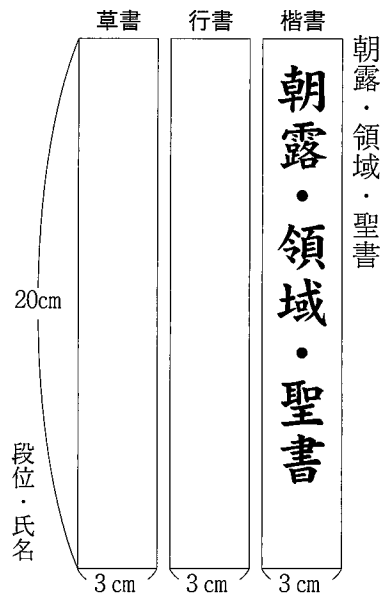


検定用紙

③口 (文字送りは自由)



①



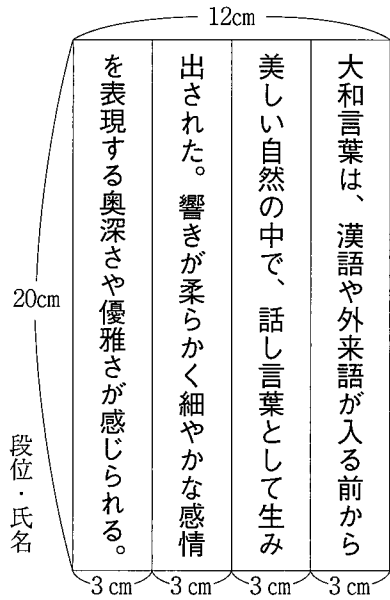
④ 書歴書

B5の用紙を横にして縦書。

書歴書
氏名
現段位
記入年月日

〈注意〉
住所・生年月日は不要

②イ(文字送りは自由)



ハ修士・準修士臨書課題漢字(蘭亭序 神龍半印本 東晋 王羲之)

段位 氏名

(釈文) すゞしやとくさむらごとになちよれ

ばあつさぞまさとどこなつのはな

したくゝるみづにあきこそかよふなれ

むすぶいつみのてさへすゞしき中務

是日也天朗氣清惠風和暢仰
觀宇宙之大俯察品類之盛
所以遊目騁懷

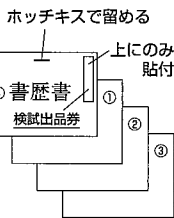
段位 氏名

(釈文)

「是日也。天朗氣清。惠風和暢。仰觀宇宙之大。俯察品類之盛。所以遊目騁懷」
是の日や、天朗らかに氣清み、惠風和暢す。仰いで宇宙の大を觀、
俯して品類の盛んなるを察す。所以に目を遊ばしめ懷を騁せ、

二修士・準修士臨書課題かな(粘葉本和漢朗詠集 伝藤原行成筆)

すゞしやとくさむらごとになちよれ
ばあつさぞまさとどこなつのはな
したくゝるみづにあきこそかよふなれ
むすぶいつみのてさへすゞしき中務



〈提出方法〉

・「助教までの部」は、④の書歴書を上にして①②③の順でホッチキスでとめる。

・「修士・準修士の部」は、ホの書歴書を上にしてイロハニの順でホッチキスでとめる。

硬筆用

うらにのりづけ
検試
現在の段
段
支部番号
※決定段位

検定試験作品の提出について

支部で提出される先生方へ

「受験者名簿用紙」と「振替用紙」については、前回ご出品いただいた支部のみに送付いたします。

必要な場合は、水明書道会館までご連絡（TEL/FAX 075-533-3453 E-mail: suimei3453@zeus.eonet.ne.jp）ください。送付させていただきます。なお、「受験者名簿用紙」は、水明のホームページからも印刷できます。

作品の送付

① しめきり日は、十月十六日（金）です。厳守してください。

② 検定試験作品は、月々の競書とは別封とし、封筒の表に「検試作品」と朱書し、差出人の住所、氏名を明記してください。競書作品と同封されると、後着になります。ご注意ください。

③ 支部出品の場合、「受験者名簿用紙」に記入のうえ、検試作品を名簿順に並べ、名簿用紙を必ず検試作品と同封してください。

提出先 a 水明書道会館 〒605-0892 京都市東山区南町通り七条上る

下堀詰町246-4

b 京都古梅園 〒604-0916 京都市中京区寺町通二条上る

※郵送の場合は必ず水明書道会館に送付してください。

出品券記入の注意

イ 現在の段の欄は十月号の水明誌の成績をみてから記入してください。

ロ 作品の氏名と同一にしてください。

ハ 支部番号は平常の記入に準じ、※欄には記入しないでください。

受験料の納め方

十月十三日（火）まで

支部：支部用の振替用紙にて納めてください。
個人：受験料を郵便局備え付けの「青色払込取扱票」にてお振込みください。

口座記号…009990-9
口座番号…298502
加入者名…一般社団法人水明書道会
※通信欄に「検試」と明記してください。

毛筆	一般の部	第一種	漢字・かな	各4,000円
		第二種	〃	各2,000円
	学生の部（後期のみ）			400円
硬筆	一般の部	準助教までの部		3,000円
		修士・準修士		4,000円

00 京都		払込取扱票	
0099909		298502	
金額		14000	
一般社団法人 水明書道会		料金	
* 水明誌申込書（必要事項を正確にご記入ください）			
種別	振替	書数	文庫・製本番号
A. 支部購入（毎月購入） （2003年4月号～1冊600円）	月号	冊数	冊数
B. 個人購読（1年分前納） （5000円）	月号より	冊数	冊数
通信 検試			
京都市東山区南町通り七条上る下堀詰町246番地の4			
水明花子			
電話番号 298502-2651			
ご加入者名、おとごころ、おなまえをご記入ください。（※請求番号 大蔵410000）			
ごより下欄には何れも記入しないでください。			

検試と記入